

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 6 月 1 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1 σ ラインと-1 σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。レンジトレーディングが有効となるが、戦略は、+1 σ ラインから+2 σ ラインにかけて売り上がり(分割エントリー&エグジット)、-1 σ ラインから-2 σ ラインにかけて買い下がる(分割エントリー&エグジット)「逆張り戦略」。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=本格的な調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの上方を推移しており、本格的な調整の反騰局面と判断。一方、前週の高値を上回っておらず、引き続き、目先は、レンジ相場の地合いにあり、+2σラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断する。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝調整の反騰局面、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝日足終値が-1σラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1σラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。尚、目先、依然として、終値が-2σラインの下方を推移しており、引き続き、特に勢いのある「走る相場」と読む。もっとも、下ひげの長いローソク足の出現となっており、ユーロ底堅さを示している。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=本格下落トレンド継続中

○遅行スパン=陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場、往来相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1 σ ラインと-1 σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=調整の反騰局面、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1 σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。一方、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン=陰転しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、 -1σ ラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。